

仮想アース Crystal E の導入(20)(HP 収載)

－仮想アースの製作(5)－

1. 始めに

前報(19)ではグリーンカーボランダム単独使用でしたが、グリーンカーボランダムと金属タワシを混合することを検討します。本報も、Crystal E ではありませんが、整理の都合上、仮想アース Crystal E の導入シリーズに含めて報告いたします。

2. 仮想アース製作と試聴方法

グリーンカーボランダムに加えて、ステンレスタワシと真鍮タワシを切り刻んで混合します。この混合品を瓶に詰め、Western の撚り線のリード線を半田付けした銅板を埋め込みます。



接続先は前報(6)、前報(9)、前報(11)と同様とし、音源は前報(6)、前報(9)、前報(11)で使用したものから選定します。

3. 仮想アースの試聴結果

Brooklyn DAC+への接続のデジタル再生では、前報(6)で再生した BPODCH からロレンツォ・ヴィオッティ指揮ベルリンフィルによるマーラーの交響曲第3番とキーシン（ピアノ）とヤンソンス指揮ベルリンフィルによるリストのピアノ協奏曲第1番をアースなし、仮想アース接続1台、2台と聴いていきました。



マーラーの交響曲第3番では、仮想アース接続1台、2台と音の分離が向上し、特に低音楽器の音の滲みが減少し、全体としてのバランスがよく、迫力がでできます。リストのピアノ協奏曲第1番では、仮想アース接続1台、2台と増えるにしたがい、ピアノの打鍵の音の芯が明瞭になり、スタンウェイの左手の低音の沈みこみの重みが増し、オーケストラの各パートの音の滲みが減少します。

TANNOY Autograph MINI の入力端子への仮想アース接続では、アナログ再生で試聴します。



バッハの Sonatas & Partitas では、仮想アースを取り付けますと、前報(19)と同様に煌びやかではありますが、単調な音が抑制され、ボウイングの細かいニュアンスが出てきます。

倍賞千恵子では、仮想アースを取り付けますと、前報(19)と同様に声や音の焦点があり、歌唱のニュアンスが採りやすくなります。

EMT981 への接続の CD 再生では、前報(11)で使用した下記 CD をアースなし、仮

想アース 1 個、仮想アース 2 個と聴いていきました。

Evidence EVCD015

ベートーヴェン Sonata for cello and piano No. 1 他

フランソワ=フレデリック・ギィ (ピアノ)

harmonia mundi KKC-5976

モーツァルト他 ピアノと管楽器のための五重奏曲 変ホ長調 K.452 他

アンサンブル・ディアローギ



Sonata for cello and piano では、仮想アースが 1 個から 2 個の接続になるに従い、前報(19)と同様に、ピアノの打鍵に芯が通って余分な響きが後退し、チェロの擦弦音も音像が明確になってきます。

ピアノと管楽器のための五重奏曲では、前報(19)と同様に、仮想アースが 1 個から 2 個の接続になるに従い、フォルテピアノの音の芯が立ち、4つの古楽器の木管の音像が明瞭になってきます。

4. まとめ

今回も、オーディオ仲間とオーディオ誌などからの情報を基に自作した仮想アースの効果を認めました。全般的には、前報(12)、前報(14)、前報(18)、前報(19)の自作品と傾向は変わりませんでした。

以上